

第14回高次脳機能障害講演会

4. 高次脳機能の神経心理検査

～記憶、遂行機能～

秋田県立リハビリテーション・精神医療センター
機能訓練部 臨床心理室
臨床心理士／公認心理師 竹下千映子

臨床心理室のおもな業務

リハビリテーション科

高次脳機能の神経心理検査
カウンセリング

精神医療科

心理検査、カウンセリング
S S T や服薬教室（入院）

認知症、物忘れ外来

認知機能検査
回想法（入院）

本日のお話

高次脳機能障害がいについて
記憶障害について
遂行機能障害について

目標

記憶障害、遂行機能障害があることを知る。

記憶障害、遂行機能障害のある方との具体的な関わりをイメージする。

高次脳機能障がいについて

脳血管障害や頭部外傷などの原因により脳が損傷を受け、言語や記憶などの機能に障がいが起こり、日常生活に様々な困難が生じるものです。

よくある症状

記憶障害

- ・人の名前や顔が覚えられない
- ・今日の日がちがわからない
- ・道に迷う
- ・約束や予定を忘れる

社会的行動障害

- ・感情のコントロールがうまくいかない
- ・周囲の状況に無関心となる
- ・些細なことにこだわる

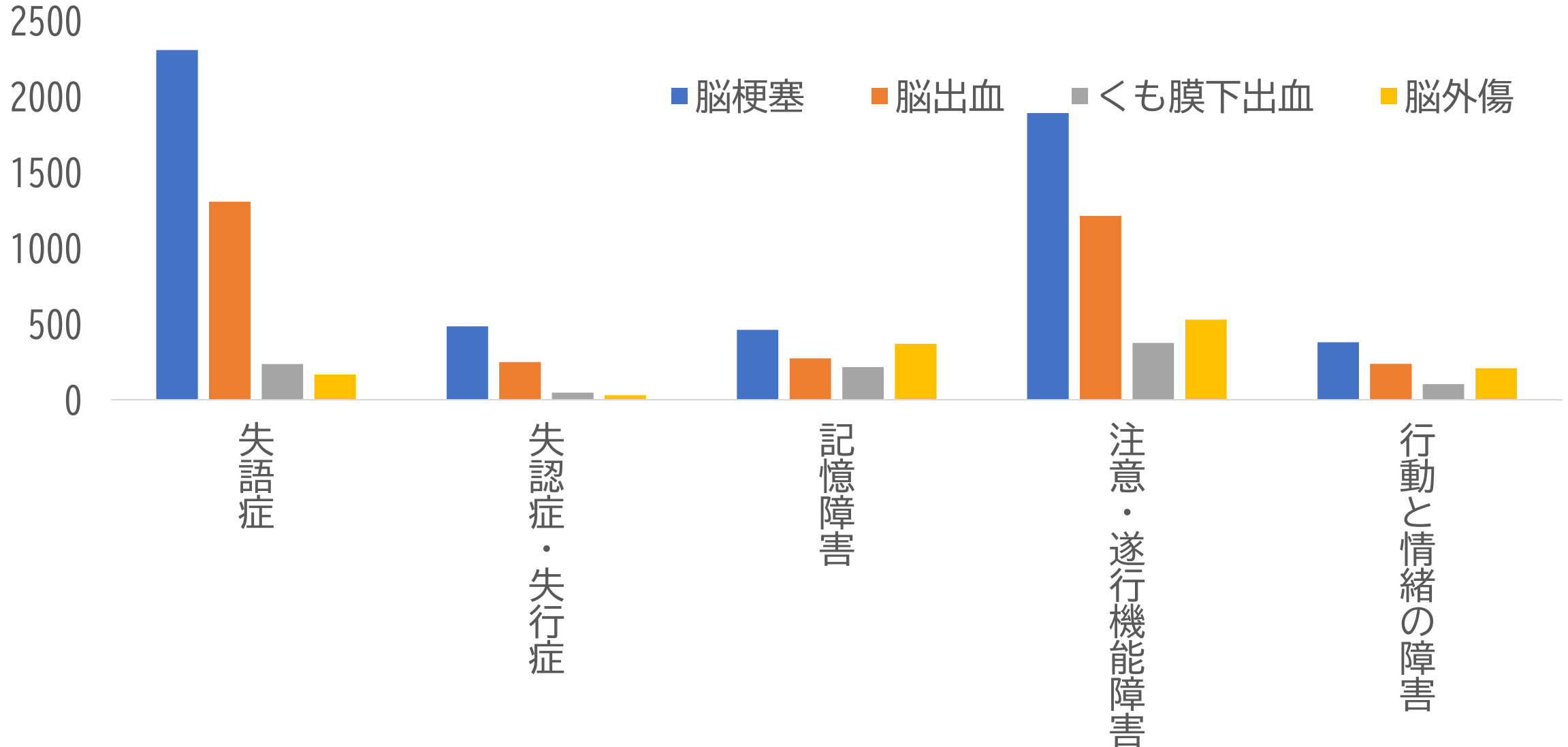
注意障害

- ・気が散りやすい
- ・同時にいくつかの事ができない
- ・単純な作業でもミスが多い

遂行機能障害

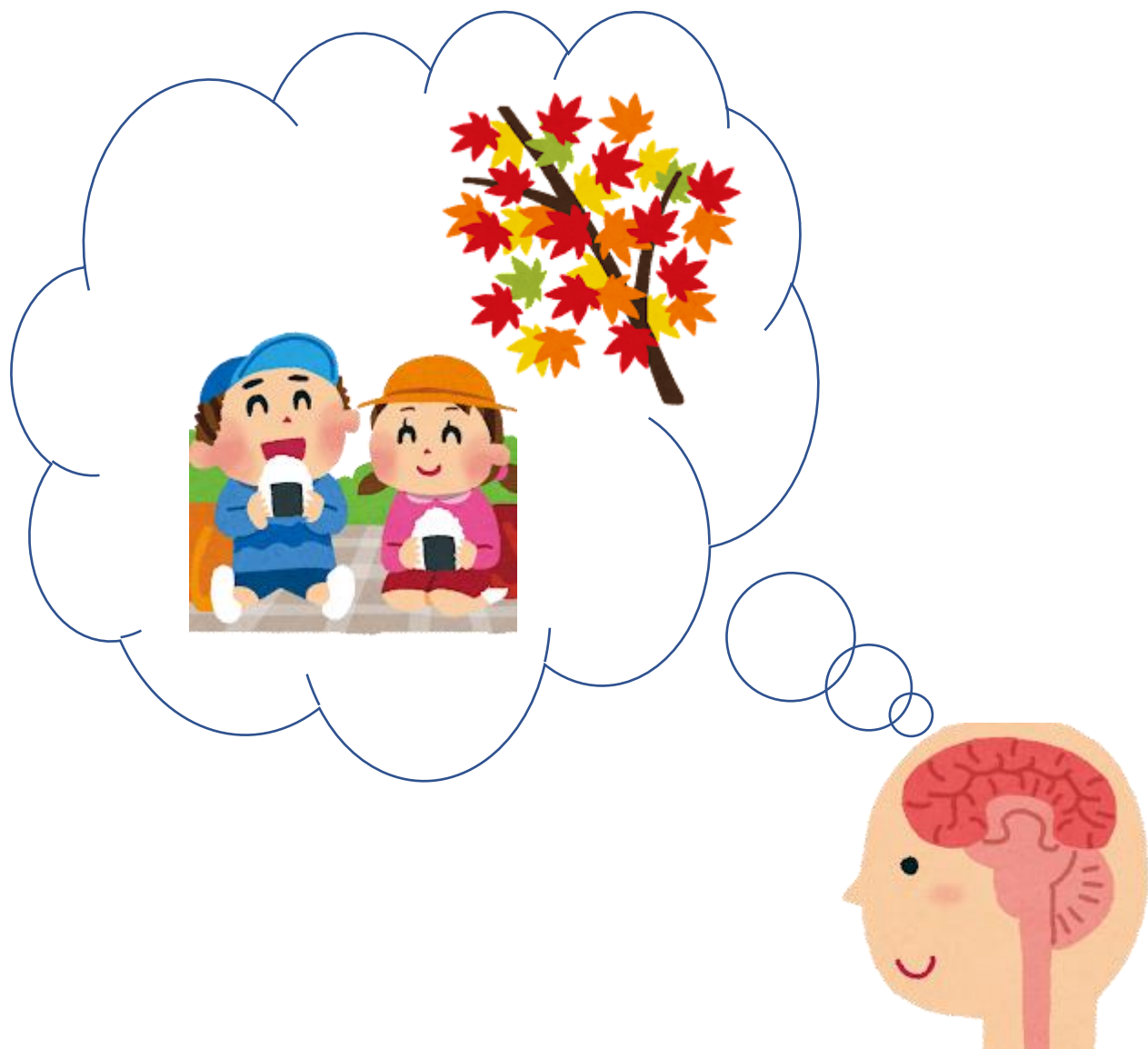
- ・見通しを自分で立てられない
- ・一つひとつ指示がないと行動できない
- ・効率良く仕事ができない

原因疾患別の高次脳機能障がい数



身体への後遺症が残らない場合もあり、外見上分かりにくいいため周りの方々の理解も得られにくく、ご本人・ご家族が不安や悩みを抱え込んでいることも少なくありません。

記憶障害について



脳に情報を入れて
覚える

覚えておく

思い出す

よくある症状

記憶障害

- ・人の名前や顔が覚えられない
- ・今日の日がちがわからない
- ・道に迷う
- ・約束や予定を忘れる

注意障害

- ・気が散りやすい
- ・同時にいくつかの事ができない
- ・単純な作業でもミスが多い

社会的行動障害

- ・感情のコントロールがうまくいかない
- ・周囲の状況に無関心となる
- ・些細なことにこだわる

遂行機能障害

- ・見通しを自分で立てられない
- ・一つひとつ指示がないと行動できない
- ・効率良く仕事ができない

スクリーニング

MMSE(Mini-mental State Examination)

時や場所の見当識、単語の直後再生と遅延再生、注意力、言語、構成など

認知能力

ウェクスラー知能検査(WAIS-III、WAIS-IVなど)

- ・言語に関する 聴覚的な情報を正確に取り込む力
言語的な知識を状況に応じて応用する力
- ・視覚に関する 視覚的な情報を取り込み、理解し推理する力
視覚的な情報を正確に処理する力
- ・それぞれのバランスをみて、理解・判断、学習、適応などを予測

言語に関する記憶検査

三宅式記銘力検査

単語の対(例:「東—西」、「黄金—散歩」)を覚える

視覚・視空間に関する記憶検査

ベントン視覚記銘検査

図形を、直後再生や模写によって、視空間認知、視覚記銘、構成を評価

Rey-Osterrieth複雑図形検査

複雑な図形を、コピー(模写)、直後再生、遅延再生(30分後)にて評価

記憶テストバッテリー

ウェクスラー記憶検査

- 注意／集中力、言語性記憶、視覚性記憶、遅延再生を総合的に評価
- 遅延再生は30分後
- ウェクスラー知能検査と比較

リバーミード行動記憶検査

- 日常生活に近い場面を想定
 - 例えば
 - 初めて見る人の名前や顔を覚える、
 - 検査者が部屋の中を歩いた道順で歩いてもらう、
 - 20分後に予定した行動を行う(展望記憶)など

交通事故の治療後、職場復帰した 40代男性 Aさん

今日の予定は…
全然わからない！
何度も聞いてないかな？！



さっきも確認していた？
…以前と変わった



Aさんの検査の結果

スクリーニング(MMSE)

- ・単語の直後再生と遅延再生: 正答
- ・見当識の日にちと曜日: 誤答 (迷い悩む、自信なさそうに回答)

認知能力(ウェクスラー知能検査)

- ・平均、バランスもとれている
- ・情報への注意力、理解力や判断力が維持されている



記憶(ウェクスラー記憶検査、リバーミード行動記憶検査)

- ・30分後に多くの内容を思い出すことが難しい。
- ・単語や人名などの短い言語に関する情報は、意識して繰り返すことで、30分後も覚えていた。
- ・幾つもの指示があったり、文章が複数あったりすると、混同されてしまう。
- ・絵や図形、顔などの視覚に関する課題は、覚えることが難しい。



検査のまとめ

- ・理解、判断などの認知能力は維持されている。
- ・情報への注意力もみられるが、
情報量が多いと、他の情報と混ざってしまう。

ルーチンの作業が取り組みやすい。
新しい作業は1つずつ。慣れるまで同じ作業を繰り返す。

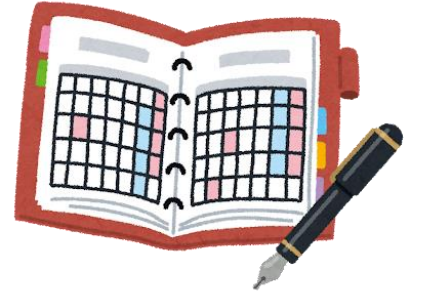
- ・情報を覚えておくことが難しい。
- ・視覚に関する情報を覚えることが不得手。

必要な情報を具体的に記録。確認しやすく、共有しやすく。
同じ言葉で繰り返し伝える。

リハビリテーション 「目標：職場復帰」

作業療法

- ・「メモリーノート」へ、日時やスケジュールを記録。
この1冊をみれば、Aさんの大事なことがわかる！！
- ・仕事に必要な能力を評価し、「ワークサンプル」のパソコン作業を練習。



言語療法

- ・「メモリーノート」へ、新聞から仕事に必要な情報を書き込む練習。
- ・「20分後に予定を確認する」などの展望記憶の課題を練習し、意識的に覚え方を学習。

検査結果やリハビリテーションの様子は、家族や職場へ伝え、関わりの工夫を共有

Aさんとの関わりをイメージ



遂行機能障害について



よくある症状

記憶障害

- ・人の名前や顔が覚えられない
- ・今日の日がちがわからない
- ・道に迷う
- ・約束や予定を忘れる

社会的行動障害

- ・感情のコントロールがうまくいかない
- ・周囲の状況に無関心となる
- ・些細なことにこだわる

注意障害

- ・気が散りやすい
- ・同時にいくつかの事ができない
- ・単純な作業でもミスが多い

遂行機能障害

- ・見通しを自分で立てられない
- ・一つひとつ指示がないと行動できない
- ・効率良く仕事ができない

スクリーニング検査

FAB (Frontal Assessment Battery)

- ・前頭葉の機能を中心に評価、ベッドサイドで短時間でできる
- ・例えば、言語の流暢性：自発的に言葉を探し出す力、思考の柔軟さ

包括的な評価

遂行機能障害症候群の行動評価

- ・日常生活上の遂行機能障害の問題点や重症度を予測
- ・カードや道具を使い、目標設定、計画、効果的な行動、問題解決など評価

認知機能の柔軟性

慶應版ウィスコンシンカード分類検査

- ・カードを分類してもらい、ルールの変更に対応する力、思考や反応の柔軟性などを評価

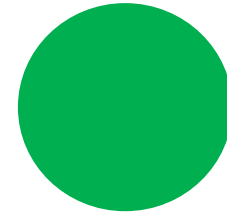
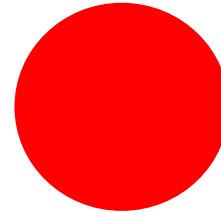
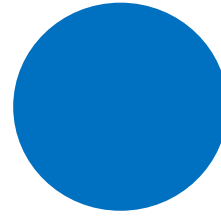
トレイルメイキングテストのPartB

- ・PartAは数字を、PartBは数字とかなを交互に、昇順に線で結ぶ
- ・PartBでは注意などを柔軟に切り替えられるか評価

ステレオタイプの抑制

Modified Stroop Test

- ・ドットの色名呼称
- ・干渉条件ありでの色名呼称



緑

青

赤

Decision making

：目の前の利益にとらわれず、長期的な見通しを立てて行動を選ぶ

ギャンブル課題

- ・利益が上がるようカードを選んでもらい、Decision makingを評価

脳梗塞の治療後、自宅に戻った 60代女性 Bさん

あまりしゃべらず、
笑わなくなった。
前はきれい好き
だった…

頼んだ用事を
覚えてないみたい、
物忘れかしら…



Bさんの検査の結果

スクリーニング(MMSE)

- ・日付と曜日は「わからない」と即答

認知能力(ウェクスラー知能検査)

- ・日常生活には問題ない、バランスもとれている
- ・制限時間があっても急がず淡々と
- ・説明がやや不十分、時間をかけて言葉を思い出す

記憶力(リバーミード行動記憶検査、ウェクスラー記憶検査)

- ・日常生活には問題ない



遂行機能

スクリーニング(FAB)

- ・言葉の流暢性、自発的に言葉を探し出す力が弱い

包括的な評価(遂行機能障害症候群の行動評価)

- ・計画を立て行動できる
- ・幾つもあると一部抜けてしまう

認知機能の柔軟性(ウィスコンシンカード分類検査)

- ・正答が少なく、誤反応が多い
- ・ヒントを出すとルールに気づき、
正答は増えたが、同じ誤反応を繰り返してしまう



検査のまとめ

- ・認知能力も記憶力も日常生活には問題ない。
- ・必要な材料がそろい、目標もはっきりしていれば、対応しやすい。
- ・やることが幾つもあると、取りこぼしが出る。
- ・考えややり方を柔軟に変えることが難しい。

自分で気づきにくい。気づきを促すような声かけや関わり。

- ・言葉の出にくさ、説明やや不十分、表情もあまりかわらない。

考えや気持ちが伝わりにくい。確認してみることも。

- ・日にちや曜日は「わからない」

以前に比べ環境への関心が低くなっている。

よくある症状

記憶障害

人の名前や顔が覚えられない
今日の日がちがわからない
道に迷う
約束や予定を忘れる

注意障害

気が散りやすい
同時にいくつかの事ができない
単純な作業でもミスが多い

社会的行動障害

感情のコントロールがうまく
いかない
周囲の状況に無関心となる
些細なことにこだわる

遂行機能障害

見通しを自分で立てられない
一つひとつ指示がないと行動
できない
効率良く仕事ができない

リハビリテーション「目標：自宅でやりたいことを見つける」

言語療法

- ・“前はよく手紙を書いた、家族に手紙を書いてみようかな”
- ・買物、手紙の作成、投函までを実際に行う。
- ・一連の流れを言葉で説明する練習も。声に出して思考過程を意識化。



作業療法(集団訓練)

- ・“前はよく裁縫をした、今も手先を使った作業は好み”
- ・他の方と積極的に関わることはないが、皆で作品制作する活動を通して自然にコミュニケーションに。笑顔がみられることも。

さらに、病棟から各訓練室まで片道200mほど歩くので、運動にも！

病棟での生活



- ・前半は、ベッドで横になって過ごすことが多かった。
- ・着替え、歯磨き、入浴など、タイミングをみてスタッフが声かけ。
- ・ベッド周りをスタッフと一緒に整理。

- ・後半は、スケジュールの空き時間に、他の方もいるデイルームでテレビをみたり、お一人でセンター内の散歩に出かけたり。

検査結果やリハビリテーションの様子は、ご家族へ伝え、関りの工夫を共有

Bさんとの関わりをイメージ



本日のお話

高次脳機能障害がいについて
記憶障害について
遂行機能障害について

目標

記憶障害、遂行機能障害があることを知る。

記憶障害、遂行機能障害のある方との具体的な関わりをイメージする。

高次脳機能障害をもっと知りたい

山田規畝子 2004 壊れた脳 生存する知

北海道放送報道部取材班 2015 記憶障害の花嫁

鈴木大介 鈴木匡子 2021

壊れた脳と生きる－高次脳機能障害「名もなき苦しみ」の理解と支援－

渡邊修 2008 高次脳機能障害と家族のケア

松崎有子 2002 知られざる高次脳機能障害－その理解と支援のために－